

森林と野生鳥獣について

大分縣獵友会 猪俣健市

野生鳥獣は農林業に最も深い関係があり特に森林の保護と鳥類との関係は既に幾多の例きによつて明らかであり、鳥類棲息の少ない所には害虫の発生によつて莫しき被害が森林を襲いつゝある。

實に自然の摂理であり天地自然に於ける安定の破れた当然の結果でありまして近時松食虫の被害が全国を覆うに及んだのであります。従つて狩獵行政が警察関係から林業部門に移管され全面的に狩獵法が改正され野生鳥類の保護繁殖が強力に推進されて参りましたことは、いさゝか遅きに失するとは言へ被害防止、森林保護の見地から喜ぶべきであると信じます。

更に植林に対する野生獣類の被害としては野鼠及び野兎をあげなければならぬが野鼠の駆除に対しては過去に於て莫大なる経費を投じ毒薬散布等の他あらゆる方途を講じたが実効なく失敗に帰した次第、其の後野生イタチ等の食する70%が野鼠である研究に成功し、牠等は全面的に捕獲禁止とし、牠等は各地の罠構に依り適当に禁獵地域を定め、奪ら之れが保護繁殖を計り野鼠の駆除に成功しております。

更に野兎の駆除については専ら狩獵者によつて相当の成果をあげており野生鳥獣類に対する植林被害の防止は前記によつて効果をあげて居ります。

植林にしても軍用林奨励が必要なるも森林被害軽減を期する見地から、混交林植林も適切に行うべきものであると信ずるものであります。

戦時から戦後に亘る森林荒廢の甚しい事は何人も認めて居る處でありまして、天水或は干魃によつてつぶさに其の苦しを身を以て味わつて居るのであります。

従つて伐採則植林であり植林即野生鳥獣類の保護繁殖であり、鳥類を殖さずして木を殖さうとするのは自然に反するものであつて、やがて害虫が発生し拍膺苦心した植林も喰ひ枯らしてしまふのでありましょう。現下松喰虫の害は正にこの恐るべき事實を示して居るのであります。

DDTの撒布も被害木の焼却も勿論必要ではあるが、自然界は生物であり森林を治むる根本は自然に於ける平衡を保全することであり、自然に於ける平衡、それは森林に棲息する野生鳥類の保護繁殖に外ならないのであります。私共獵友は戦前のハンターと兵の使命を異にし、單なる道楽的のものにあらず世界のスポーツとして一大發奮するは勿論、鳥獣の盜獲を慎み、森林被害の急減と人類生活に悪影響の關係を有する鳥類の保護運動を展開し縣下各所に保護区の施設或は禁獵区禁獵区の設定、獵友会や学校を話し愛鳥週週普及に業障の致しと幾多の集會施設を講じ、又適切な有害鳥獣の駆除をなし此の目的が達せられたとき、はじめて我々上の山川は緑の林に覆われて旧烟は豊饒の秋を綻ぶことが出来るであらう。今日の狩獵法の全面的改正された所以も此處にあり、私ども狩獵者の責任甚巨大に益、其の責任を痛感すると共に農林行政に善つて貢献せんとするものであります。

尚最後に鳥類の分布を全国的に望むならば戦前に於ては農林省林政調査課の調査による

894種、戦後領土の縮小により522種類 最近の調査では409種であつて我が大分縣としては380種類程度は棲息していると思われます。此の中、栗島が大部分で次に醫馬で全土よりの棲息状況より見ると分布の密度は多い方に居るのであります。